

	<p>日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部</p>		<p>発行人:支部長 木佐 健悟</p>
			<p>北海道ブロック支部事務局 (市立美唄病院内)</p>
			<p>TEL:0126-63-4171</p>
			<p>e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com</p>

文責 北海道ブロック支部広報委員会

昨年から続く新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種についてはブロック支部会員の皆様も診療に管理業務に日々ご苦労されていることとお察しいたします。くれぐれもみなさまご自身の健康にご留意下さい。

新型コロナウイルス感染症に関しては学会本部でも様々な取り組みを行い発信しています。

「新型コロナウイルス感染症 診療所・病院におけるプライマリケアのための情報サイト」

<https://www.pc-covid19.jp>

## <目次>

### 1. 北海道ブロック支部よりお知らせ

- ◇ 第9回北海道地方会の開催について
- ◇ 道庁補助事業について
- ◇ 北海道ブロック支部内部組織及び活動状況について
- ◇ 北海道ブロック支部予算について
- ◇ ニュースレター新企画について

### 2. トピック

- ◇ 活動報告
- ◇ 新型コロナワクチンに関する情報

### 3. 今後の予定、次号予告

### 4. お問い合わせ先・SNS

## 1. 北海道ブロック支部よりお知らせ

(1) 日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部 第9回北海道地方会の開催について

■実行委員長：加藤 利佳 先生（手稲家庭医療クリニック）

■開催日時：2022年6月25日（土）

■開催場所：札幌市「かでの2・7」

■開催方法：現地開催とオンラインのハイブリットでの開催を検討中

■内 容：テーマは「緩和ケア×プライマリ・ケア in 北海道」

今後、多死社会を迎える我が国では、アドバンス・ケアプランニングを代表する意思決定支援や在宅療養での症状緩和などの社会的ニーズが増えてくることが予想されます。そこではプライマリ・ケアの持つ技術が発揮できる場面が多くあります。プライマリ・ケアの担える緩和ケア領域は幅広いのですが、日本ではまだまだ浸透しているとは言い難い現状です。

そこで全道からプライマリ・ケアを担う医療者が集う北海道地方会にて上記テーマを掲げ皆様の技術や知恵を総動員し学びにしていくことは、大きな意義があると考えます。

■一般演題締切：4月20日（水） お早めにご応募ください。

※5月末の社会情勢に応じて web 開催への切替えと企画一部中止または変更を想定しております。  
最終の案内時（5月末頃）には詳細をお知らせいたしますので、何卒、ご理解賜りますようよろしく願いいたします。

◆「地方会各企画概要(プログラム)」、「一般演題(口演) 募集要項等」  
[第9回北海道地方会開催案内《第一報》ページへのリンク](#)

## (2) 道庁補助事業について

現在新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いあまり利用がありませんでしたが、現在も地域医療体験実習のための費用助成を継続中です！ぜひ医学生の方はご利用いただければと思います。

<http://jpca-hokkaido.jp/hiyoujosei>

## (3) ブロック支部内部組織及び活動状況について

現在、広報委員会、若手医師・学生支援委員会、薬剤師部会が各々活動&計画中です。引き続き情報があれば随時共有していきます。まだFacebookのご登録をされていない方々もぜひ登録を！

<https://www.facebook.com/Hokkaidoprimarycare/>

## (4) 支部の予算について

現在事業があまり行われなかったこともあり、内部留保があります。今後北海道支部活動をアピールしていくための施策を検討しています。ブロック支部設立10周年記念事業もできないかと考えていますので、アイデアをお持ちの方はブロック支部事務局にお寄せください。

北海道ブロック支部事務局 Email [hpca.jimukyoku@gmail.com](mailto:hpca.jimukyoku@gmail.com)

## (5) ニュースレター新企画

北海道ブロック支部会員の交流を目的として、ニュースレターの中で会員みなさまの活動報告や勤務されている病院・診療所・クリニックのご紹介をさせていただきたいと考えています。

紹介していただける方はご連絡ください。

また、新聞や雑誌、テレビなどメディアで取材を受けた方で、活動報告としてニュースレターやFacebookに掲載可能な方はご連絡ください。

## 2. トピック

### (1) 活動報告

北海道内でプライマリ・ケアに関わる医師・医療機関をリレー形式で紹介する企画の第2回は手稲家庭医療クリニックの大塚亮平先生です！

札幌市手稲区の手稲家庭医療クリニックの大塚亮平です。

手稲家庭医療クリニックは都市型の家庭医療を提供している有床診療所で、外来・訪問診療・緩和ケアの病棟診療（19床のホスピス）を提供しています。”かりんば”（アイヌ語で”さくら”）の愛称で呼ばれています。

診療所としては珍しくMSW2名と管理栄養士3名を擁し、経験豊富な看護師（緩和ケア認定看護師、皮膚・皮膚排泄ケア看護師を含む）・医師で構成される多職種のチームでプライマリ・ケアを提供しています。また社会的に困難を抱える患者さんや複雑・診断困難例、どこに受診してよいかわからない患者さんの受け皿として地域の駆け込み寺的な医療機関になっており、「困ったら”かりんば”へ」と言っていたくこともよくあります。

教育に力を入れていることも特徴です。医学生、初期研修医や後期研修医、家庭医にキャリアを転向する臓器専門医、ナースプラクティショナーなどこれまで沢山の研修生を受け入れてきました。日本や米国で家庭医の専門研修を積んだ医師と、心臓外科医や救急医、呼吸器内科医からの転向組とが強みを生かして診療しています。

働きやすく働きがいがある職場を目指しており、現在子育て中の専攻医や指導医、介護をしながら勤務している医師も活躍しています。家庭医としての成長したい方、ワークもライフも大事にしたい方、教育に興味がある方、多職種連携を大切にしながら家庭医療を実践したい方、“かりんば”には活躍できるフィールドがあります。興味のある方は是非ご連絡ください。

<https://www.keijinkai.com/teine-karinpa/>

私自身は医師になってから横須賀、佐久（長野）、つくば、米国のニューヨーク州・インディアナ州と研修に合わせて点々と異動し、2016年に札幌に移住しました。この5年で手稲がすっかり気に入りました。コロナ禍になって休みは近場で Staycation をして、手稲の魅力を沢山発見しています。



銭函ビーチの夕暮れはとても静かで、波の音に癒されます



チーム”かりんば”で手稲山登山



ほぼ全てが”森”の森林公園で、夏は木漏れ日の下で朝のウォーキング、冬は子ども達とソリ遊びや木登りをすると童心に戻ります。

## (2) 新型コロナワクチンに関する情報

日本プライマリケア連合学会 予防医療・健康増進委員会 感染対策チームによる  
新型コロナウイルス感染症プライマリ・ケアのための情報サイト  
<https://www.pc-covid19.jp/>

## 3. 今後の予定

### (1) 第9回北海道地方会・2022年度定時総会

2022年6月25日(土) 札幌市

実行委員長：手稲家庭医療クリニック 加藤利佳先生

予定：一般演題の抄録は2月から4月頃、参加申込は5月頃

### (2) 第13回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2022年6月10日～12日 横浜市

(パシフィコ横浜での現地開催+ウェブ開催のハイブリッド形式)

テーマ：「今、プライマリ・ケアの真の価値を考える～さまざまな立場・環境をつないで～」

参加登録はこちらから！ <https://jpca2022.org/参加登録/>

### (3) 次号ニュースレター予告

ニュースレターは3か月毎発行しています。

次回2022年7月号では第9回北海道地方会の報告をお伝えします。

## 4. お問い合わせ・SNS

### (1) 北海道ブロック支部 事務局

Email [hpca.jimukyoku@gmail.com](mailto:hpca.jimukyoku@gmail.com)

みなさまが勤務されている病院・診療所・クリニック紹介していただける方はご連絡ください。  
また、ニュースレターへのご意見・ご要望、ブロック支部設立10周年記念事業のアイデアも  
お寄せください。

### (2) 北海道ブロック支部ウェブサイト

URL <https://jpca-hokkaido.jp/>

### (3) Facebook

#### ① 日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部

URL <https://www.facebook.com/Hokkaidoprimarycare/>

#### ② 日本プライマリ・ケア連合学会

URL <https://www.facebook.com/Japanprimarycare>